

令和7年度米海兵隊との実動訓練 (レゾリュート・ドラゴン25) について

【訓練の目的】

陸上自衛隊及び米海兵隊等の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図るもの。

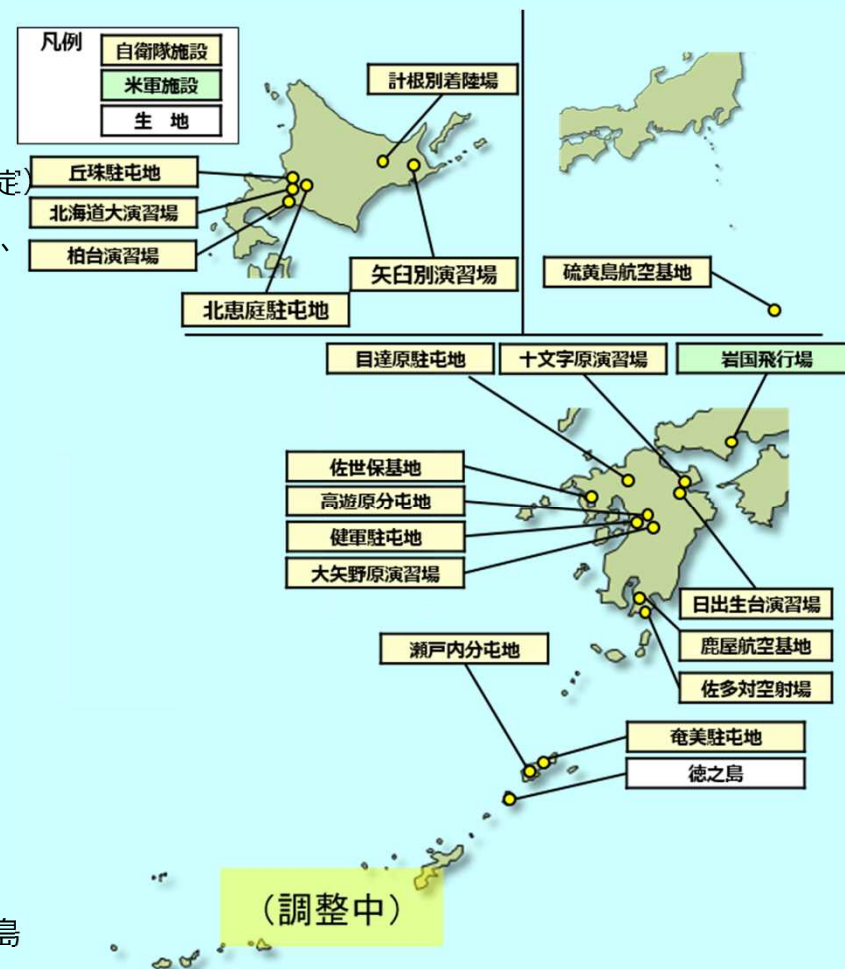
また、一部の訓練では、島外避難に応用可能で国民保護や防災にもつながる訓練を実施します。

【訓練の沿革】

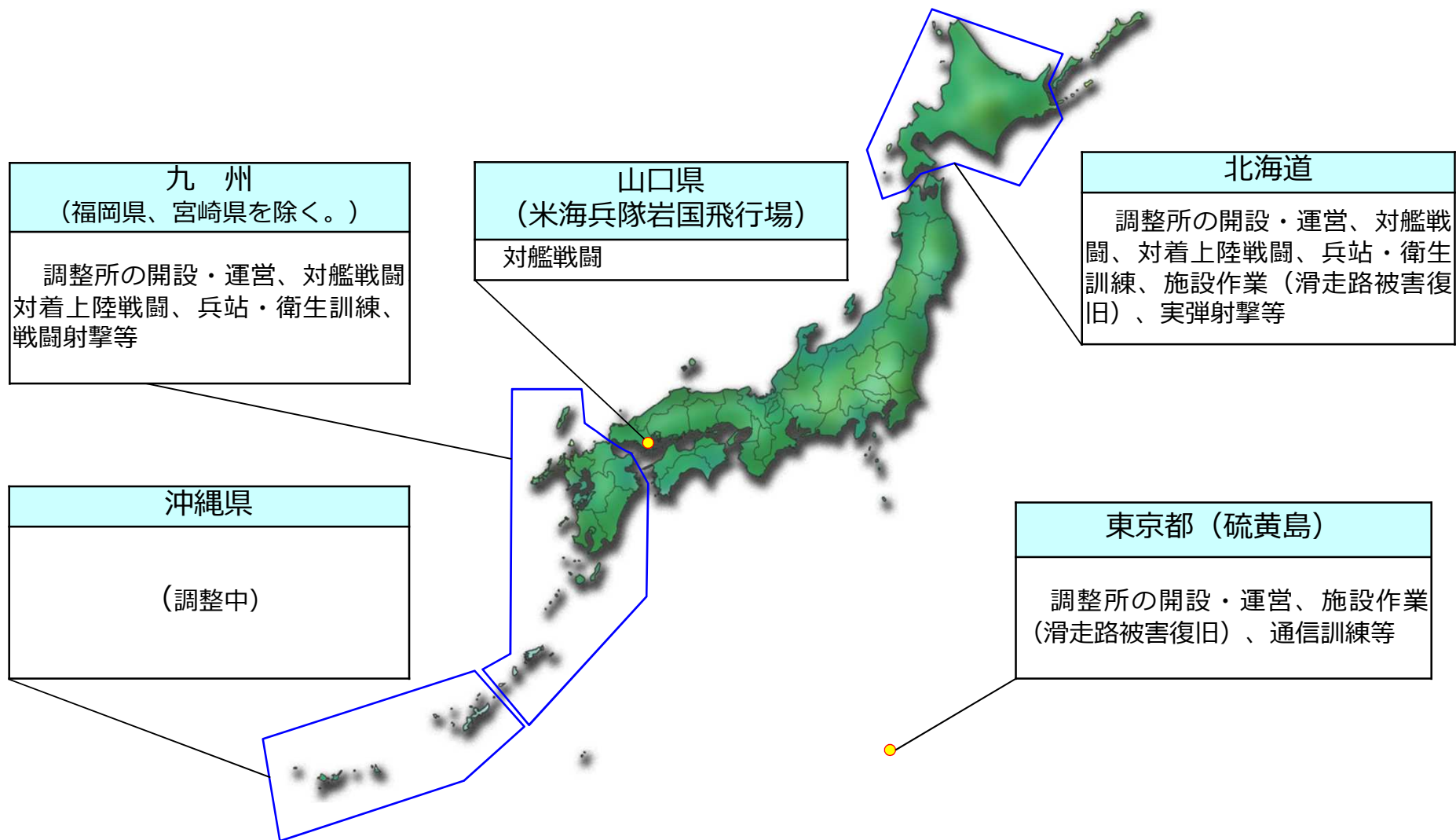
令和3年度に初めて実施し、本年度が5回目

【演習の実施場所及び期間】

- **演習期間：令和7年9月11日（木）～25日（木）**
(本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定)
- **演習実施場所：**北海道、東京都、大分県、佐賀県、長崎県、熊本県、
鹿児島県及び沖縄県の下記の場所
- ・ **北海道：**陸上自衛隊北海道大演習場、陸上自衛隊北恵庭駐屯地、
陸上自衛隊矢臼別演習場、陸上自衛隊柏台演習場、
陸上自衛隊丘珠駐屯地、航空自衛隊計根別着陸場
- ・ **東京都：**海上自衛隊硫黄島航空基地
- ・ **山口県：**米海兵隊岩国飛行場
- ・ **大分県：**陸上自衛隊日出生台演習場、陸上自衛隊十文字原演習場
- ・ **佐賀県：**陸上自衛隊目達原駐屯地
- ・ **長崎県：**海上自衛隊佐世保基地
- ・ **熊本県：**陸上自衛隊健軍駐屯地、陸上自衛隊高遊原分屯地、
陸上自衛隊大矢野原演習場
- ・ **鹿児島県：**陸上自衛隊佐多対空射場、海上自衛隊鹿屋航空基地、
陸上自衛隊奄美駐屯地、陸上自衛隊瀬戸内分屯地、徳之島
- ・ **沖縄県：**県内の一部の自衛隊施設及び在日米軍施設（調整中）



レゾリュート・ドラゴン25における訓練内容等



米海兵隊岩国飛行場の使用について

山口県

岩国飛行場においては、**米単独での対艦戦闘訓練及び日米部隊間の交流を実施する計画**です。また、訓練に参加する米軍の装備品等は、**岩国飛行場内の滑走路を利用した航空機による輸送をもって搬出入する予定**です。

【期 間】 令和7年9月11日（木）～25日（木）

【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊（陸上総隊、中部方面隊、西部方面隊等）

米 軍：米海兵隊（第3海兵機動展開部隊等）、米陸軍（第3マルチドメインタスクフォース等）

注：参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



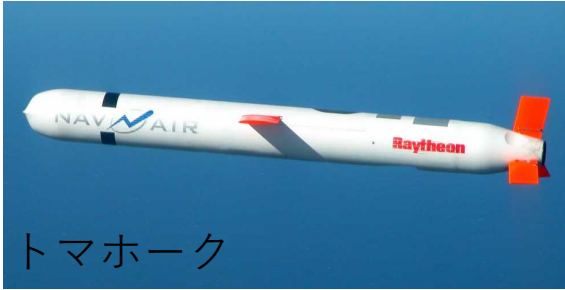
場所は細部計画中

訓練イメージ



部隊間交流

(参考) タイフオンの概要

概 要	<table border="1"> <tr> <td>全 般</td><td>車両プラットフォームのミサイルシステム</td></tr> <tr> <td>名 称</td><td>T y p h o n W e a p o n S y s t e m (タイフオン・ウェポン・システム)</td></tr> <tr> <td>構 成</td><td>指揮統制システム×1、発射機×4、支援器材 (いずれも車両型)</td></tr> <tr> <td>発射弾数</td><td>1 6 発 (発射機 1 台に 4 発搭載)</td></tr> <tr> <td>考え方</td><td>艦艇搭載の V L S を起立可動型に改修し、車両に搭載したもの</td></tr> </table>	全 般	車両プラットフォームのミサイルシステム	名 称	T y p h o n W e a p o n S y s t e m (タイフオン・ウェポン・システム)	構 成	指揮統制システム×1、発射機×4、支援器材 (いずれも車両型)	発射弾数	1 6 発 (発射機 1 台に 4 発搭載)	考え方	艦艇搭載の V L S を起立可動型に改修し、車両に搭載したもの
全 般	車両プラットフォームのミサイルシステム										
名 称	T y p h o n W e a p o n S y s t e m (タイフオン・ウェポン・システム)										
構 成	指揮統制システム×1、発射機×4、支援器材 (いずれも車両型)										
発射弾数	1 6 発 (発射機 1 台に 4 発搭載)										
考え方	艦艇搭載の V L S を起立可動型に改修し、車両に搭載したもの										
外 観	 発射機概観 出典：米陸軍公式ホームページ										
搭 載 ミサイル	 トマホーク 出典：レイセオン社公式ホームページ  S M - 6 出典：米海軍公式ホームページ										